

横浜市障害者スポーツ指導者協議会 機関誌

BASEL



- 発行責任者:横浜市障害者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者:広報担当理事
- 連絡先 : 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ事業課内
Fax 045(475)2053

<http://basel-y.sakura.ne.jp>



新年のご挨拶

会長 平井 晃

横浜市障害者スポーツ指導者協議会会員の皆様並びに関係団体等の皆様には、日頃から、当協議会の事業推進に多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございました。お陰様で、昨年は様々な事業を滞りなく行うことができましたことに対し心より感謝申し上げます。

さて、厚生労働省は障害者スポーツ活動の振興について、平成23年8月に施行されたスポーツ基本法において、「障害者の自主的かつ積極的なスポーツを推進する」との理念が掲げられました。また、パラリンピック競技大会をはじめ、近年、障害者スポーツにおける競技性の向上は目覚ましく、障害者スポーツに関する施策を、福祉の観点からスポーツ振興の観点からも一層推進していく必要性が高まっていることを踏まえ、平成26年度から障害者スポーツに関する事業を厚生労働省から文部科学省に移管しました。本市においても、第3期横浜市障害者プラン(平成27年度～平成32年度)に「文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進」を新たに掲げることになりました。

スポーツ活動の推進では、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会に向けた障害者スポーツの機運の高まりに合わせて、身近な地域のスポーツ施設を活用して障害者スポーツについても取り組むことができるよう地域人材の育成を進め、障害者スポーツ活動の推進を図ることになりました。つきましては、当協議会としては、これらの方々の活動を積極的に支援し、障害者スポーツの普及発展に繋がればと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

14 回全国障害者スポーツ大会

第 14 回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」が、平成 26 年 11 月 1 日(土)から 3 日(月・祝)の三日間行われました。大会スローガンは、「君の夢 はばたけ今 ながさきから」と、選手の夢、スタッフの夢、みんなの夢が、平和の象徴である鳩のように空高く羽ばたいて実現するように、との願いが込められています。開会式の最後には、紙風船で出来た白い鳩が、ゆっくり風に乗って舞い上がって行きました。

また、本年から厚生労働省に替わり文部科学省が、主催者に加わりました。

大会は、全国 47 都道府県及び 20 の政令指定都市から選手・役員約 5500 名が、参加しました。競技は、長崎県内五か所の市、二か所の町で、15 競技とオープン競技として「ふうせんバレーボール」・「視覚障害者ボウリング」が、行われました。

横浜市選手団は、陸上・水泳・卓球(含 STT)・フライングディスク・ボウリング・アーチェリーの個人種目と知的障害の部の男子バスケットボール、精神障害の部のバレーボール競技に選手 67 名と役員 39 名が参加しました。

団体競技は、昨年に続き連覇の金メダル。個人競技も金メダル 41 個、銀メダル 12 個、銅メダ 11 個。卓球競技は、全員が金メダルを獲得。陸上競技では、大会タイ記録 1 と大会新記録を 5。水泳競技では、大会新記録を 6 出して来ました。

会員からは、陸上競技に 4 名が役員、強化練習サポートに 1 名が参加。ボウリング競技・フライングディスク競技にそれぞれ 1 名が監督として、また役員として参加しました。

長崎の役員、ボランティアの皆さんの支援はもとより、横浜で応援して下さいました皆様に感謝致します。

理事 志摩 初枝



開会式のオープニングセレモニーの様子

《全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技》



強風に押しつぶされたテント

競技 1 日目は、アキュラシー。悪天候の中での競技になりました。雨風の強弱とディスクを投げるタイミングを考えながらの 10 投。選手は大変だったと思います。2 日目はディスタンス。この日も悪天候で競技終盤には、突風で選手招集場のテントが飛び、残りの競技が翌日に延期になりました。横浜市の選手も一人翌日の試合になりました。また、ディスタンスでは今大会特別ルールが有り、サイドにアウトラインが出来たため、思うように投げられない事もありました。3 日目は、晴天。無事全競技を終えることが出来ました。2 日目にはアクシデントもありましたが大会主催者側の避難指示が早かったこともあり、けが人も出さずに全競技を終了することができました。

理事 松田 邦子

会員の活動体験コーナー

《7月6日(日) スポーツフェスタ「水泳の日」 於:横浜ラポール》

広報

毎年この時期に行われるフェスタ「水泳の日」も回数を重ね参加者も増えてきています。

朝早くからこの記録会のために頑張って練習をしてきた選手たちがぞくぞくと詰め掛けて来ました。

この記録会は、あらゆる障害を抱えた人達が、参加出来るとても楽しい大会です。多くのボランティアの方々に支えられて記録会は、無事閉幕しましたが、良い成績だった選手も残念な結果の選手もまた練習を積んで次回は今回の成績を上回ることを期待します。

《8月3日(日) スポーツフェスタ「バスケットボールの日」

於:横浜ラポール》

会員 萩原 智徳

スポーツフェスタ「バスケットボールの日」のボランティア活動に初めて参加させていただきました。

今回は、7 チームが参加していて、男女混合チームもあり、女子も男子に負けない気迫で頑張っているところを見て、応援にも熱が入ってしまいました。

また、「バスケットボールの日」は、参加しようと思いました。



当日のスタッフ

《8月24日(日) スポーツフェスタ「ボウリングの日」 於:横浜ラポール》

広報

スロープを使用してピンを狙う。バンパーを利用してガーター無しで、ゲームを楽しむ。等々、ボウリングの楽しみ方にも色々あります。ボランティアに参加して下さい。一緒に楽しみましょう！！

《9月7日(日) ラポールの祭典 於:横浜ラポール》

広報

大勢の来場者を迎えて賑わう祭典ですが、今年はお馴染みのプログラムに加えて「ユニバーサルカヌー体験」「つくって飛ばそう！紙飛行機選手権」など、新しいプログラムも加わりました。

協議会のコーナーは、昨年に続き活動紹介パネルを設置しました。昨年は、協議会全体の活動紹介を1枚のパネルに仕上げましたので、今年は個人の活動を紹介させていただきました。様々な種目がある中で、協力してくださった皆さん、有難うございました。当日時間がなくてご覧いただけなかった方は、協議会のホームページに掲載します。

ご協力いただいた皆さん: セイラビリティ横浜・39Enjoy Swimming・えくぼ FC・エスペランサ・新横ショートテニス愛好会・ペガサス・スパーク・POP・八走会・ボッチャ練習会・車いすテニス練習会・鶴見養護学校ボート体験乗艇会・横浜ドリーマーフライングディスククラブ・ボウリング練習会 敬称略・順不同

《9月20日(土) ハマピック「バスケット競技」 於:横浜ラポール》

広報

来年の全国障害者スポーツ大会に関東代表として出場するには、まず横浜市代表にならなくてはなりません。今年の全国障害者スポーツ大会に向けて強化練習中のチーム「ダンディズ」が、参加 6 チームの中から順当に勝ち上がり、関東ブロック代表選考会への出場権を獲得しました。

《9月28日(日) 鶴見ボートフェスタ 於:鶴見川漕艇場》 会員 西村 うづき

「第4回鶴見ボートフェスタ」に参加してきました。

1 か月前に事前講習会が予定されていましたが、荒天のため中止になってしまい、ぶっつけ本番になってしまった当日。



普段参加しているボランティアと勝手が違い、ボートという見るのも触れるのも初体験の世界に不安だらけでしたが、集合場所に行くと知っているバセルの人達ばかりで一安心。



大きなフィンランド製ボート

フェスタ開始後に「まず乗ってみましょう！」と実際にボートに乗せてもらいましたが、用意されていたのはフィンランド製 14 人乗りの大きなボート。思っていたより安定感があり、自分はボランティア参加ということも忘れ、すっかり楽しんでしまいました。(笑)。更にこれなら障がいのある子供たちでも心から楽しめるな、と納得。実際、漕げる子供はオールを持ち、漕げない子供は大人の膝の上で、ボートでなければ感じられない川の風を感じることが出来たと思います。結局、障がい者 40 名を含め 100 名以上の過去最高の参加人数で大賑わいの中、終了ギリギリに駆け込み参加者もいる中で惜しまれつつ閉幕。雲ひとつない快晴と真夏のような陽気という、ボートを楽しむには最高の天気に恵まれたことも有り、フェスタは大盛況のまま幕を閉じたのでした。

《10 月 13 日(月・祝) トレイルオリエンテーリング 於:新横浜公園》

広報

昨年の昼休憩もままならないような来場者数に対応すべく準備をしておりましたが、折悪しく台風 18 号の襲来で競技会場周辺は復旧作業中。さらに当日は、台風 19 号襲来の予報もあり、10 日にスポーツリレーションフェスティバル実行委員会から中止との連絡を受けました。次回のご協力をお願いいたします。

《10 月 19 日(日) 横浜市身体障害者運動会 於:横浜ラポール》

広報

横浜市内外から約 300 名の参加者で、行われました。ラポールグラウンドを取り囲み「体力の増進」「機能回復」「交流と親睦」をテーマに皆で楽しい一日を過ごしました。



当日のスタッフ

《11 月 9 日(日) ハマピック「ソフトボール競技」

於:岸根公園》

広報

前日夜半からの雨で、グラウンドコンディションが、すぐれず 1 チームが棄権したことにより、チーム「ダンディーズ」が、関東ブロックの大会に横浜市代表として参加します。協議会会員の担当ボランティアさんは、朝早くから全員お集まりいただきました。皆さんありがとうございました。



《11 月 22 日(土) ハマピック「バレーボール競技」 於:横浜ラポール》

広報

男子は、「横浜こうわ」。女子は、「日野中央高等特別支援学校」が、関東ブロック地区予選会への出場権を獲得しました。

《12 月 7 日(日) ハマピック「サッカー競技」 於:しんよこフットボールパーク》

広報

気持のよい晴天、霜柱が立つような気温の中 8 チームが参加して行われました。横浜市代表は、「横浜市 F・マリノス フトゥーロ A」に決定しました。

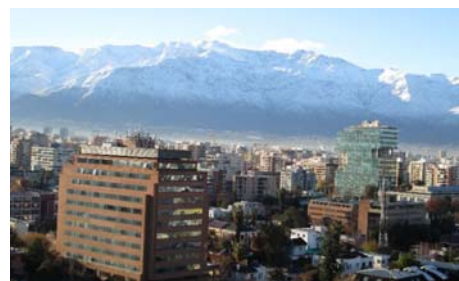
今回プログラム中の対戦表にチームのフィールドプレイヤーとゴールキーパーのユニフォームの色が、記入

されたことにより、招集が大変行いやすくなりました。と、会員ボランティアの方々から評判でした。事前の監督者会議で情報を得て作成して頂いたとの事、担当職員の配慮に感謝です。

《チリでのボランティア活動》

BASEL会員さんの中に海外でも障害者スポーツ支援活動を行っている方がいらっしゃいます。活動体験を書いて頂きましたので、ご覧ください。ご本人の希望によりお名前は伏せてあります。

昨年3月から11月までの8ヶ月間、JICAの短期ボランティアとして南米のチリで活動してきました。活動先は首都サンティアゴの『国立身体障害者リハビリテーション病院』です。入院患者は25歳までの子供～青年(病床数39)、通院患者は大人もいます。病院の建物は平屋でこじんまりとしていて、小さいフットサルのコートとボッチャのコートが1面ずつありました。リハビリのひとつ・社会参加のひとつとして病院では“障害者スポーツ”が行われており、「ボッチャ」「CP サッカー」「車いすテニス」「車いすラグビー」「車いすハンドボール」のクラブ活動もありました。



【チリの首都サンティアゴとアンデス山脈】

しかし日本のような屋内の体育館ではないので、真冬は寒く風も冷たく、夏は日差しが強く、雨が降るとクラブ活動もしばしば休みになることがありました。

私はこのようなクラブ活動の手伝いをしたり、雨でもできる地元の室内プールを借りて水中リハビリや障害



【ボッチャの様子】

者水泳の導入、病院内の院内学級に体育の授業を取り入れる、週末は障害者スポーツ啓蒙活動のイベント・大会の手伝いをしたりと、忙しく充実した毎日を過ごしました。

ボランティア派遣は単身で、「ボランティア活動環境の整備・確認」が目的でしたので、チリに着いてすぐに全てスペイン語での活動、8ヶ月の活動中に3回のプレゼンテーションを行うところは少々苦労しました。

首都サンティアゴでの生活でしたので地下鉄やバスを使いましたが、残念ながらエレベーターのある駅は限られていて、バスの乗り降りは車いすでは困難な状況で、障害を持った人には決して整った環境とは言えません。又まだ格差社会が残っているので、地方では障害児・者のスポーツ等の社会参加も課題でした。

日本とは違いスリが多く外国人は狙われやすいのでいつも緊張感を持って生活していましたが、チリの人はお年寄りに席を譲ったり、困っている人にすぐに声を掛けてきたり、人懐こいところがあります。

チリは、経済力のある国で「南米の優等生」と呼ばれています。チリ人の国民性として、先住民(インディオ)の土着文化が弱くヨーロッパからの文化を強く受け継いでいます。他のラテン諸国と比べるとラテン的楽天主質が薄く、堅実であると言われています。国民は勤勉であり、他国への関心が高く、新しいモノ好き。首都サンティアゴにおいては、教育水準も高く、女性の社会進出も進んでいて、「社会を良くしよう！」という関心・意識が高いです。そして街中で車いすや杖の人など障害を持っている人をたくさん見かけるのも、すぐお隣のボリビアやペルーで、ちゃんとした「杖」や「車いす」の存在が少なかった事と、上記のチリの国・国民性から考えると、首都サンティアゴで杖や車いすの方々が社会に出ている＝社会参加の意識が高いのでは？と思えました。

このような貴重な体験をし、それを少しでも日本で還元して今後も身近なところから障害のある方と共に私自身も前進できればと思います。

又チリの障害者スポーツに携わる方々との繋がりもでき、2020年の東京パラリンピックで“架け橋”となる活動へも広がっていきたいと思いました。

研修コーナー

<第 38 回種目別研修会>

開催日:平成 26 年 11 月 30 日(日)

会 場 :障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

テーマ:卓球

講 師 :横浜ドリーマー車椅子卓球クラブペガサス 川久保 真一氏・鈴木 慎也氏

ラポール卓友会 石河 恵美氏・中野 真紀子氏・四方堂 哲雄氏

佐々木 千鶴氏、桎谷 はつ子氏

参加者:12 名

開講式に引き続き、まず、午前中から昼食をはさんで車椅子卓球クラブの鈴木慎也氏、川久保真一氏の講師による車椅子卓球の研修が行われました。

最初に、車椅子卓球専用台の足はプレイヤーの車椅子の邪魔にならない構造であること、サービスは打った球が相手コートのサイドラインを横切ったらやり直し、ダブルスではプレイヤーがセンターラインを越えてプレーしてはいけない、などの車椅子卓球独特のルールの説明から、研修が始まりました。

参加者は、順番に、用意された車椅子を使用して、実際の車椅子卓球を経験しました。最初は慣れない様子の参加者も、時間がたつにつれてラリーが続くようになりました。

卓球は親しみやすい種目でもあり、参加者も熱心に実技に加わり、質疑応答も障害者卓球指導の実践にあたっての質問がたくさん出て、昼休み中にも行われるほどでした。



車椅子卓球

車椅子卓球のあとはラポール卓友会の石河恵美氏、中野真紀子氏、四方堂哲雄氏、佐々木千鶴氏、桎谷はつ子氏の 5 名の講師による立位卓球の研修が開催されました。



立位卓球の講師

立位の卓球は、比較的健常者の卓球に近いいためか、参加者も積極的に実技に参加し、卓球自体を楽しんで受講していました。

ルールは、一般的な卓球と変わらない分、イボ高のラバー・指の固定、など様々な工夫が凝らされていました。トスを行ったのと同じ側の手でサーブを繰り出します。練習の成果とは言え、とても自然に見える動きが、素晴らしかったです。

最後に、講師による模範試合が行われ、試合内容も何度もジュースが繰り返されるなど、白熱した展開に、参加者の皆さんも堪能されていました。

研修の感想は、実技が中心の研修であったことからか、参加者からは非常に楽しく研修に参加できてよかったというような感想が多く寄せられました。

今回の研修会は、横浜市以外にも相模原、大和や川崎からの熱心な方々を迎えて行われました。

お知らせコーナー

《第 8 回障害者グラウンドゴルフ横浜大会》

平成 26 年 11 月 1 日(土)に予定されていましたが、生憎の天候のため止むを得ず中止致しました。
記念品と挨拶状を各選手に送付いたしました。

《第 39 回種目別研修会》

開催日 : 平成 27 年 5 月 16 日(土)・午前
会 場 : 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
テ ー マ : 未定

《第 17 回総会》

開催日 : 平成 27 年 5 月 16 日(土)・午後
会 場 : 障害者スポーツ文化センター横浜ラポールニ階ラポールボックス

《ホームページのアドレス変更》

<http://basel-y.sakura.ne.jp> スマートフォンからご覧いただけます。

《メールアドレス》

basel@basel-y.sakura.ne.jp

《ラポールプール工事中》

平成 27 年 2 月 28 日(土)まで天井工事のため使用できません。

《全国の指導者協議会の動き》

日本障害者スポーツ協会が 4 月から定款の変更をした。

日本障害者スポーツ協会→日本障がい者スポーツ協会
各県においては来年度「協会登録」を新たにすることになるので、その時点で出来るだけ名称変更を行う予定

《訃報》

当会開設以来事務局長、会長などを歴任された大久保善司さんが、平成 26 年 11 月に亡くなりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

平成 10 年 3 月(1998)

設立総会で、事務局長就任

平成 14 年 5 月(2002)

第 4 回総会で、会長就任

平成 20 年 5 月(2008)

第 10 回総会で、会長辞任し監査就任

平成 24 年 5 月(2012)

第 14 回総会で、理事退任



社会福祉法人横浜市リハビリ
テーション事業団設立 20 周年
記念で表彰を受けた時

会員数 平成 26 年 12 月現在 494 名

平成27年度障害者スポーツカレンダー(予定)

4 月	5 月	6 月
12 (日) ハマ:アーチェリー ハマ:ホウリング (港北とうきゅうホール) 19 (日) ハマ:卓球・サウント・テーブルテニス 25 (土) 協議会役員会 26 (日) ハマ:水泳 29 (水・祝) ハマ:フライングディスク (新横浜公園投てき練習場)	6 (水・祝) ハマ:陸上 (三ツ沢公園) 16 (土) ふれあいスポーツ大会 (三ツ沢公園) 種目別研修会・BASEL 総会 協議会役員会	7 (日) 障害者スポーツボランティア 養成入門講座 27 (土) 協議会役員会
7 月	8 月	9 月
5 (日) フェスタ:水泳の日 12 (日) ステップアップ研修会 25 (土) 協議会役員会	2 (日) フェスタ:バスケットボールの日 22 (土) 協議会役員会 23 (日) フェスタ:ホウリングの日	6 (日) ラホールの祭典 13 (日) フェスタ:卓球の日 19 (土) ハマ:バスケットボール 26 (土) 協議会役員会
10 月	11 月	12 月
3 (土) 種目別研修会 12 (月・祝) トレイルオリエンテーリング (新横浜公園) 17 (土) 障害者スポーツボランティア 養成入門講座 18 (日) 浜身連運動会 24 (土)～26(月) 第 15 回全国障害者 スポーツ大会(和歌山県) 24 (土) 協議会役員会	1 (日) 第 9 回障害者グラウンドゴルフ 横浜大会 7 (土) ハマ:バレーボール 8 (日) ハマ:ソフトボール (岸根公園) 15 (日) ステップアップ研修会 28 (土) 協議会役員会 29 (日) フェスタ:フライングディスクの日	13 (日) ハマ:サッカー (しんよこフットボールパーク) 19 (土) 協議会役員会
1 月	2 月	3 月
23 (土) 協議会役員会 24 (日) フェスタ:ホウリングの日	6(土)・7(日) } 初級障がい者スポーツ 13(土)・14(日) } 指導者養成講座 21 (日) フェスタ:ホウリングの日 (港北とうきゅうホール) 21 (日) フェスタ:ホッパの日 27 (土) 協議会役員会	20 (日) 横浜マラソン車椅子の部 (山下公園) 26 (土) フェスタ:サッカーの日(谷本公園) 26 (土) 協議会役員会

〈凡例〉ハマ＝ハマピック フェスタ＝スポーツフェスタ 協議会＝横浜市障害者スポーツ指導者協議会

* 開催場所の記入がない競技は、全て「横浜ラポール」で行われます